



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 東洋水産株式会社

コード番号 2875 URL <http://www.maruchan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小畑 一雄

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 新居 隆一 TEL 03-3458-5035

四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	77,901	4.8	6,782	6.0	7,201	6.7	3,576	△3.0
24年3月期第1四半期	74,333	1.4	6,396	△7.3	6,746	△8.3	3,688	△7.9

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 1,984百万円 (△26.6%) 24年3月期第1四半期 2,702百万円 (66.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	35.01	—
24年3月期第1四半期	36.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	245,201	186,491	71.9
24年3月期	251,414	186,665	70.2

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 176,344百万円 24年3月期 176,513百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期（予想）	—	20.00	—	30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	159,000	6.4	12,000	7.0	13,000	10.9	8,000	27.7	78.31
通期	330,000	2.8	27,000	5.8	28,000	3.7	17,000	5.5	166.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	110,881,044株	24年3月期	110,881,044株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	8,718,456株	24年3月期	8,717,927株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	102,162,589株	24年3月期1Q	102,171,348株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等により景気は緩やかな回復傾向にあるものの、欧州政府債務危機による海外景気の下振れの影響に加え、円高水準の定着や電力供給の規制等により、国内経済の先行きは引き続き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考え取り組むとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は77,901百万円（前年同四半期比4.8%増）、営業利益は6,782百万円（前年同四半期比6.0%増）、経常利益は7,201百万円（前年同四半期比6.7%増）、四半期純利益は3,576百万円（前年同四半期比3.0%減）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の為替換算レートは、79.28円/米ドル（前第1四半期連結累計期間は、80.68円/米ドル）であります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

水産食品事業は、海外においては欧州の経済危機による需要の減退、国内においては養殖鮭鱒を中心に低価格競争が続くなど、水産を取り巻く環境はより一層厳しさを増しました。このような状況の中、当社の得意商品の魚卵・マグロ等刺身商材を中心に開発・販売を積極的に行った結果、売上高は8,062百万円（前年同四半期比8.8%増）となりました。セグメント利益は、主に養殖鮭鱒等における市況悪化の影響により81百万円（前年同四半期比64.8%減）となりました。

海外即席麺事業は、前年の第2四半期後半から第3四半期にかけて実施した値上げ効果と、その後引き続き行った積極的な販売活動による販売数量の増加により、売上高は13,689百万円（前年同四半期比12.1%増）となりました。セグメント利益は、一昨年からの世界的なコモディティ価格の上昇の影響により、主原材料・運賃等のコストが増加しましたが、一部原材料価格が安定したこと、また、値上げ及び拡販の効果により2,816百万円（前年同四半期比182.7%増）となりました。

国内即席麺事業は、カップ麺は昨年好調に推移していた「赤いきつねうどん」や「緑のたぬき天そば」、「麺づくり」といった基幹ブランドの販売が伸び悩み、売上減少となりました。一方で、袋麺は昨年11月に発売した「マルちゃん正麺」が好調に推移しました。その結果、売上高は24,958百万円（前年同四半期比3.6%増）となりました。セグメント利益は、原材料価格の高騰や販売促進費の増加、新規製造ラインの設備投資等により、2,392百万円（前年同四半期比30.9%減）となりました。

低温食品事業は、生麺はレンジ調理を提案した「麺道楽」やビーフン類等の新製品を投入しましたが、3食焼そば類の売上減少を補えませんでした。また、3食生ラーメン類や涼味商品類は前年並みで推移しましたが、2食生ラーメン類や3食玉うどん類は、競合品との価格競争の影響により減収となりました。冷凍食品類は、冷凍麺及び冷凍野菜類が外食産業や事業用給食向けの業務用を中心に好調に推移しました。その結果、売上高は15,735百万円（前年同四半期比2.9%減）となりました。セグメント利益は、原材料価格の高騰や販売促進費の増加により834百万円（前年同四半期比23.3%減）となりました。

加工食品事業は、米飯は前年に東日本大震災の影響を受けましたが、生産ラインが復旧したことにより増収となりました。フリーズドライ製品は簡便・本物志向に対応した新製品が堅調に推移しました。その結果、売上高は4,119百万円（前年同四半期比14.1%増）となりましたが、原材料価格の高騰や販売促進費の増加によりセグメント損失は6百万円（前年同四半期はセグメント利益112百万円）となりました。

冷蔵事業は、各種メーカーによる節電対策として夏季商品の前倒し生産が行われたため、保管在庫が高い水準で推移しました。そのため保管料収入が前年実績を上回る結果となり、売上高は3,774百万円（前年同四半期比0.8%増）、セグメント利益は388百万円（前年同四半期比8.0%増）となりました。

その他は、主に弁当・惣菜事業及び不動産賃貸事業であります。売上高は7,551百万円（前年同四半期比6.8%増）、セグメント利益は489百万円（前年同四半期比15.3%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比べ総資産は6,213百万円減少し245,201百万円、純資産は174百万円減少し186,491百万円となりました。この主な変動要因は、以下のとおりであります。

資産は、主に建設仮勘定が増加し、受取手形及び売掛金、有価証券が減少しました。負債は、主に未払費用及び未払法人税等が減少しました。純資産は、主に利益剰余金が増加し、為替換算調整勘定が減少しました。

この結果、自己資本比率は71.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に関する事項につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績が想定した範囲内で推移しているため、平成24年5月11日に発表しました見通しを変更しておりません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ13百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	43,207	42,936
受取手形及び売掛金	48,746	43,130
有価証券	17,001	16,000
商品及び製品	16,502	15,802
仕掛品	211	389
原材料及び貯蔵品	4,124	4,318
繰延税金資産	1,542	1,166
その他	3,370	3,350
貸倒引当金	△511	△508
流動資産合計	134,196	126,586
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	44,187	43,478
機械装置及び運搬具(純額)	21,389	21,256
土地	28,595	28,600
建設仮勘定	2,176	4,788
その他(純額)	1,232	1,264
有形固定資産合計	97,581	99,389
無形固定資産		
その他	2,051	1,985
無形固定資産合計	2,051	1,985
投資その他の資産		
投資有価証券	14,947	14,440
繰延税金資産	1,742	1,848
その他	895	950
投資その他の資産合計	17,585	17,239
固定資産合計	117,218	118,614
資産合計	251,414	245,201

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	21,997	20,730
短期借入金	325	276
1年内返済予定の長期借入金	12	—
未払費用	17,208	14,151
未払法人税等	4,541	2,412
未払事業所税	69	13
未払消費税等	322	367
繰延税金負債	3	3
役員賞与引当金	156	36
その他	2,228	2,891
流動負債合計	46,865	40,883
固定負債		
繰延税金負債	885	799
退職給付引当金	15,626	15,743
役員退職慰労引当金	129	109
負ののれん	375	337
資産除去債務	310	311
その他	556	524
固定負債合計	17,883	17,826
負債合計	64,749	58,710
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,969	18,969
資本剰余金	22,516	22,516
利益剰余金	158,052	159,585
自己株式	△8,129	△8,130
株主資本合計	191,408	192,941
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	322	261
繰延ヘッジ損益	259	118
為替換算調整勘定	△15,478	△16,976
その他の包括利益累計額合計	△14,895	△16,596
少数株主持分	10,152	10,146
純資産合計	186,665	186,491
負債純資産合計	251,414	245,201

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	74,333	77,901
売上原価	46,994	48,923
売上総利益	27,339	28,978
販売費及び一般管理費	20,942	22,196
営業利益	6,396	6,782
営業外収益		
受取利息	36	64
受取配当金	143	153
賃貸収入	106	102
雑収入	147	206
営業外収益合計	434	527
営業外費用		
支払利息	2	0
賃貸収入原価	24	19
為替差損	8	27
持分法による投資損失	0	1
雑損失	49	59
営業外費用合計	84	108
経常利益	6,746	7,201
特別利益		
固定資産売却益	3	1
受取補償金	—	21
その他	0	2
特別利益合計	4	25
特別損失		
固定資産除売却損	21	40
投資有価証券評価損	146	368
災害による損失	180	—
その他	6	12
特別損失合計	354	422
税金等調整前四半期純利益	6,396	6,804
法人税、住民税及び事業税	2,099	2,776
法人税等調整額	446	333
法人税等合計	2,545	3,110
少数株主損益調整前四半期純利益	3,850	3,694
少数株主利益	161	117
四半期純利益	3,688	3,576



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,850	3,694
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	71	△67
繰延ヘッジ損益	△215	△141
為替換算調整勘定	△1,008	△1,498
持分法適用会社に対する持分相当額	3	△3
その他の包括利益合計	△1,148	△1,710
四半期包括利益	2,702	1,984
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,546	1,884
少数株主に係る四半期包括利益	155	99

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	7,410	12,212	24,081	16,208	3,610	3,745	67,269	7,069	74,339	△5	74,333
セグメント間の内部 売上高又は振替高	207	—	0	—	0	240	448	132	580	△580	—
計	7,617	12,212	24,082	16,208	3,610	3,985	67,717	7,201	74,919	△585	74,333
セグメント利益	230	996	3,463	1,088	112	359	6,250	424	6,675	△278	6,396

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業及び不動産賃貸事業であります。

2 外部顧客への売上高の調整額△5百万円は、報告セグメントと四半期連結財務諸表で取引高消去の方法が異なることにより発生した差異であります。セグメント利益の調整額△278百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△351百万円、棚卸資産の調整額△22百万円及びその他の調整額95百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に決算時における海外子会社との取引高消去に伴う為替換算によって生じた換算差額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	8,062	13,689	24,958	15,735	4,119	3,774	70,340	7,551	77,891	10	77,901
セグメント間の内部 売上高又は振替高	179	—	0	—	0	243	423	138	561	△561	—
計	8,241	13,689	24,958	15,735	4,119	4,018	70,763	7,689	78,453	△551	77,901
セグメント利益 又は損失(△)	81	2,816	2,392	834	△6	388	6,507	489	6,997	△215	6,782

- (注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業及び不動産賃貸事業であります。
- 2 外部顧客への売上高の調整額10百万円は、報告セグメントと四半期連結財務諸表で取引高消去の方法が異なることにより発生した差異であります。セグメント利益又は損失の調整額△215百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△306百万円、棚卸資産の調整額3百万円及びその他の調整額87百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に決算時における海外子会社との取引高消去に伴う為替換算によって生じた換算差額であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。